七六五

佛國ケルクホーフス氏原著
和蘭國ワンデルヘイデン氏和譯

世界語文典和譯 全

明治二十一年十月上梓

No 1238 特30

願ヲ起シ二十餘年間丹精ヲ凝ラシテ終ニヴォラニ於テヤ斷乎トシテ世界普通語ヲ發明スルノ大ナシテ交際ノ途ヲ開進スルノ必要ヲ感シタリ是

簡短ナル世界語ヲ作リ之ヲ普通ノ機關ト

略ボ曉レリ之ヲ習學スルノ困難ヲ實驗シタ

通曉スル博士ナルカ故ニ夙ニ人類ノ言語相異ナ

爲ス氏ハ學識ニ富ミ殊ニ各國ノ言語ニ

人ヲ獨逸コンスタンス府ノシュライ

發明サレタルモノナリ之ヲ

典ナルカ目的ヲ以テ

世界語ハ言語相異ナル各國人民ニ交通ノ便利ヲ

緒言

本國人亦シユライエル氏ノ目的ニ左袒シテ世界テ眞ノ世界語トナルノ日遠キニアラサルヘシ日ノ普及ヲ計ルノ景況ナルカ故ニ此ノ世界語ニシ力既ニ此ノ如ク盛大ナリ猶各國益々熱心シテ其皆競フテ之ヲ研究スルニ至レリ夫レ世界語ノ勢ハ世界語協會ヲ開設シテ其ノ新聞雜誌ヲ發行シヒ印度清國ニ傳播シ或ハ學校教科書中ニ加ヘ或タルカ爲メ僅カ四五年ヲ出テスシテ歐米各國及セラルヽヤ歐米ノ學士頻リニ其ノ便利ヲ唱道シニ至レリヴオラプウヰク即チ世界語ノ初テ出版プウヰクト稱スル簡便學ヒ易キ新語ヲ發明スル

明治二十一年六月　　和蘭國　ワンデルヘイデン誌

ニ其レ之ヲ恕セヨ

リ淺學無識或ハ誤譯ヲ免レサル所アラン世人幸界語文典ヲ和譯シ之ヲ世ニ公ニス而ルニ予固ヨ欲シ玆ニ佛國ケルクホ―フス氏ノ編纂ニ係ル世肖ヲ顧ミス日本國人ニ其ノ利益ヲ享ケシメント ノ進路ヲ滑カニシ國福ヲ增スヤ必セリ因テ予不語ヲ講習シ各國ト言語ノ一致ヲ謀レハ交際商業

世界語文法

第一章　綴字

世界語の字母は羅馬字を用ゐ而して歐語文法は其の字母なる者一字は數種の音あり之を別ち世界語の字母は一字に一音と法とを

世界語の字母は二十七字を用ふ即ち母韻aäeioöuüの八字と子韻bcdfghjklmnprstvxyzの十九字あり母韻は次例に示す如く長音にて發音すべし

例

a アー　e エー　i イー　o オー　u ウー

ä ö ü の三音は日本に於て同音なし因て次例に示す英獨佛の語音にて發音すべし

ä	アエ	hat 英語	(帽子)の(a)の音響
ö	オヰ	schön 獨語	(奇麗)の(ö)の音響
ü	ウヰ	cuve 佛語	(樽)の(u)の音響

(アエ)は(ア)と(エ)の中間音にて發音すべし(オヰ)は

(オ)と(ヰ)と別々に言はゞ(オヰ)と一時に早く發音そべし(ゥヰ)も同く一時に早く發音そべし

子韻ハ次例の如く發音そべし

b	ベェ	c	ジェ	d	デェ	f	エフ	g	ゲェ
h	ハ	j	ジェ	k	カ	m	エム	n	エン
p	ペェ	r	エル	s	エス	t	テ	v	ヴェ
y	ヤ	z	ツェット	〔是ハ一時に早く發音そべし〕					

上に記そ細字の(ェ)ハ總て輕き響にて發音そべし

l x の二音ハ日本に於て同音あし因て次例に示そ歐語の音響にて發音そべし

l エル lamp (洋燈)の(l)の音響
ランプ

x エックス examination (試驗)の(x)の音響
エクザミネーション 英語

茲に日本假名と以て字母の音と記し置くと雖も迚も日本假名にてハ其の正音寫し得られゞ故に洋學者或ハ洋人に就て發音と習ふべし

x の音ハ言ひ難き音あるに因て世界語にてハ稀に之と用ふ

q w の二字ハ省いて用ひゞ而るに各國の人名地名に是の二字ある者あると以て下に記し置き其の用に充つ

q キュウ quack (庸醫)の(q)の音響
クアク 英語

w ウヰ William (英皇帝の名)の(w)の音響
ウヰリアム 英語

强音

次例に示そ如く終りの連字にハ强音にて發音そべし

例

tikelē literāt penedī
智者 學問 手紙

人名地名

次例に示そ如く各國の人名地名ハ其の國の綴字の儘と用ふると法とそ

例

Okubo John Rotchild
オウクボ ジョン ロチイルド

世界語の音綴ハ母韻一個と以て一音綴とあそと法とそ故に母韻一個に子韻一個二個三個相合そるも一音綴とあし重母韻ハ二音綴とあそ○歐語文法ハ其の母韻子韻ある者連綴の位地に因て長音短音無音の區別と立てしものありと雖も世界語に於てハ前にも述べたる如く其

母韻子韻ある者ハ連綴の如何に拘らず何れの所にても音響同一にして且無音あきと以て法とす

例

Ki|üp	o|ka|nol	me|kön	pü|ka|ti
キイウ井プ	オ カ ノール	メ カオ井ン	プウ井 カ チー
二音綴	三音綴	二音綴	三音綴

讀音法

一 Plofed プロフエード　二 de デー　三 literat リテラート　四 äliladom アエリラドーム　五 vöno ヴオ井ノー　六 in イーン

七 klad クラード　八 funapükati フナプウ井カチー　九 fa ファー　十 Flechier フレシエー　十一 su スー　十二 Turenne ツ井レン

十三 Mayed マエード　十四 stüla スツウ井ラー　十五 e エー　十六 subim スビーム　十七 tikas チカース　十八 älegäloms アエレガアエロームス

十九 julelis シユレリース　二十 valik ワリーク　廿一 e エー　廿二 bal バール　廿三 de デー　廿四 oms オームス　廿五 äsagom アエサゴーム

廿六 kofiko コフ井コー　廿七 nilele ニレレー　廿八 omik オミーク　廿九 " Küp キイウ井プ　三十 okanol オカノール　廿一 mekön メカオ井ン

廿二 pükati プウ井カチー　廿三 sümik ? スウ井ミーク　廿四 " Von ヴエン　廿五 obinol オビノール　廿六 Turenne " ツ井レン

廿七 votik ヴオチーク　廿八 ägesagom. アエゲサゴーム

譯文

五 或日　二 文學　三 博士ガ　一 講習室に　七 於て　六 フレシエー

ガ　十二 書きたる　ツ井レン　の　八 死に就ての演説と　讀

四 み聞かしたるところ　十九 生徒ハ　二十 皆　其の　十三 巧妙ある

十四 文章と　十六 高尚ある　十七 説　とに　十八 感心せり　廿二 獨の　廿三廿四 生徒

廿五 冷笑して　廿七 隣人　に　向ひ　三十 汝ハ　何時　廿九 彼の樣ある

廿二 演説と　廿 書き　廿一 能ふやと　廿五 問ひしに　廿五 汝ガ　廿六 フレシエー

に　廿六 爲りしあらば　我亦　ツ井レン　に　爲ると　廿八 答ふ

フレシエー　ハ　雄辯にして學識ある僧

ツ井レン　ハ文武兼備の武將

是の譯文ハ稽古問題の譯文にあらず只讀音法の原文と意譯せしものあり故に原語の譯と省きし所あり或ハ補筆せし所あり即ち譯文の無記番號の所ハ補筆あり

第貳章

名詞

名詞ハ次例に示ス如く四格に區別ス即ち主格語の語尾にaの后置字と結び付けて持主格とおしeと結び付けて被與格とおしiと結び付けて目的格とおそと法とす

例

單數

主格	Dom	家ハ	被與格	Dome	家に。で
持主格	Doma	家の	目的格	Domi	家と

複數語ハ次例に示す如く單數語の語尾に s の后置字と結び付けて複數語とす

例

複數

主格	Doms	家々ハ	被與格	Domes	家々に。で
持主格	Domas	家々の	目的格	Domis	家々と

人名地名

名詞の語尾母字あるとき母字の后置字と結び付くれば音節清妙あらざるに因て世界語の名詞ハ總て子字と以て語尾とし母字と以て后置字とす然るに各國の人名地名ハ母字と以て結尾と爲すもの少あらず是の故に各國の人名地名ハ次例に示す如く持主格の后置字即ち a の代りに de の前置詞と置き被與格の后置字即ち e の代りに al の前置詞と置くと法とす

例

三	二	一
Dom	de	Yashiro
家	の	八城

五	四	三	二
Selob	Domi	al	Yetaro
賣る私しが	家と	に	英太郎

男性女性

歐語文法ハ両性區別の語多しと雖も世界語に於てハ只人名にのみ両性と區別を即ち次例に示す如く男性語の語頭に of の前置字と結び付けて女性とす

例

男性		女性	
flen.	友人	of-flen.	女友人
tidel.	教師	of-tidel.	女教師
blod.	兄弟	of-blod.	女兄弟

稽古問題

labob.	私ハ持つ	mon.	金子
labobs.	私等ハ持つ	pened.	手紙
labol.	汝ハ持つ	stof.	反物
labols.	汝等ハ持つ	can.	商物
labom.	彼ハ持つ	canel.	商人
laboms.	彼等ハ持つ	nilel.	隣人
binob.	私ハ有る。居る	flen.	友人
lemob.	私ハ買ふ	in.	中に。於て
selob.	私ハ賣る	plo.	爲に

givob. 私ハ遣る　　no. ぬ
ギヴオーブ わたし や　　ノー

六 一 五 四 三 二
1. Labob penedi plo flen canela.
ラボーブ ペネーディー プロー フレーン ジアネーラー

三 一 二 六 四 五
2. Lemob stofis; labol canis.
レモーブ ストフイース ラボール ジアニース

六 五 一 四 三 二
3. No binob in dom of-canela.
ノー ビノーブ イーン ドーム オフ ジアネラー

三 一 二 七 六 四 五
4. Labols moni, no labols flenis.
ラボールス モニー ノー ラボールス フレニース

六 一 五 四 三 二
5. Binob nilel flena de Yasumats.
ビノーブ ニレール フレナー デー ヤスマツ

二 一 六 五 四 三
6. Nilel canela labom fleni in Tokio.
ニレール ジアネラー ラボーム フレニー イーン トウキヨウ

七 一 四 三 二 六 五
7. Givob penedis de Goto al Hiodo.
ギヴオーブ ペネディース デー ゴトー アール ヒオードー

八 一 四 三 二 七 六 五
8. Selob stofis de Tokugawa caneles de Yokohama.
セローブ ストフ井ース デー トクガハ ジアネレース デー ヨコハマ

一 五 四 三 二
9. Nilels laboms stofis plo canels.
ニレールス ラボームス ストフ井ース プロー ジアネールス

二 一 四 三
10. Flens nilela laboms domis.
フレーンス ニレラー ラボームス ドミース

五 一 四 三 二
11. Givob moni flenes of nilela.
ギヴオーブ モニー フレネース オフ ニレラー

六 一 五 四 三 二
12. Labobs canis in dom flena.
ラボーブス ジアニース イーン ドーム フレナー.

譯文

一　私ハ商人の友人の爲に手紙と持つ
わたし しやうにん いうじん ため てがみ も

〔註日本語法にては爲の字を省き見るべし〕
ちう にほんごはふ ため じ はぶ み

二　私ハ反物と買ふ汝ハ商物と持つ
三　私ハ女商人の家に居らぬ
四　汝らハ金子と持つ汝等ハ友人と持さぬ
五　私ハ安松の友人の隣人で有る
六　商人の隣人ハ東京に友人と持つ
七　私ハ後藤の手紙と兵頭に遣る
八　私ハ德川の反物と横濱の商人に賣る
九　隣人ハ商人の爲に反物と持つ
十　隣人の友人ハ家と持つ
十一　私ハ隣女の友人に金子と遣る
十二　私等ハ友人の家に商物と持つ

第三章

形容詞

世界語ハ名詞と以て根語と爲し其語尾に后置字と附加して各種の詞と爲そこと多し即ち形容詞ハ本性語ありと雖も多く名詞の語尾に ik の后置字と結び付けて形容詞と爲し之と用ふ

例

名詞	形容詞
fam　譽	famik　譽の

dol	痛	dolik	痛き
glet	大	gletik	大なる

形容詞ハ常ニ名詞ノ次ニ置クモノトセ而シテ名詞ハ複數ニテモ形容詞ハ複數ヲ用ふるニ及ベセ

例

四 一	三	二
Labob	domis	gletik
持つ私ハ	家々ヲ	大いなる
一	三	二
Doms	binoms	gletik
家々ハ	有る	大きく

名詞ヲ用ひセ形容詞ヲ以テ名詞ヲ爲シ用ふるヲ得但シ斯る場合ニハ單數複數格ノ區別ヲ立テ用ふるものトセ

○形容詞ヲ以テ名詞ヲ爲セ例ハ稽古問題譯文ノ第十ヲ讀み曉るべし

例

一	二	三
blägiks	e	vietiks
黑者等	と	白者等

形容詞ノ語尾ニ os ノ后置字ヲ附加シテ名詞ヲ爲セヲ得是レ日本文典ニ(樂き)ヲ言ふときハ形容詞ヲ爲り〔樂きこと〕ヲ言ふときハ名詞ヲ爲るガ如シ

形容詞	名詞
valik	valikos
皆の	皆

形容詞ヲ以テ副詞ヲ爲セヲ得即チ形容詞の語尾ニ o の后置字ヲ結び付けテ副詞ヲ爲セ

例

名詞	形容詞	副詞
dol 痛み	dolik 痛き	doliko 痛く
	mödik 澤山なる	mödiko 澤山に
	nemödik 少なき	nemödiko 少なく

二	一	五	三	四
mens	mödik	pükoms	tu	mödiko
人ガ	澤山なる	咄セ	餘り	澤山に

形容詞ニ比較格あり即チ定級語の尾ニ um の后置字ヲ附加して比較級ヲ爲し ün の后置字ヲ附加して最大級ヲ爲セヲ法トセ

例

定級	gletik	大	最大級
比較級	gletikum	より大	gletikün 最も大

副詞の比較格も亦形容詞ヲ同一の后置字ヲ附加セヲ法トセ

例

五	一	四	三	二
Binom		gletikumo	ka	ob
有る彼ハ		より大きく	より	私

mödikumo（より澤山の意）の語と言ふとき其の代用語として只 umo（是亦より澤山の意あり）而已と用ふるも可あり

mödiküno（最も澤山の意）の語と言ふとき其の代用語として只 üno（是亦最も澤山の意あり）而已と用ふるも可あり

nemödikumo（より少ゐくの意）の語と用ふるとき其の代用語として luumo（lu ハ無しの意あり）と用ゐるも可あり

nemödiküno（最も少ゐくの意）の語と用ふるとき其の代用語として luüno（lu ハ無しの意あり）と用ふるも可あり

例

一	三	二
Yasumats	epükom	mödiküno
安楽ハ	咄しと	最も澤山

或ハ üno と代用そ

斯く澤山少しの二語に而已其の代用語と設けしに二意

あり即ち第一澤山少しの二語ハ常に度々用ふる語ゐるに多綴音の語にてハ不便少ゐらざるに因て斯く少綴音の語と以て其の代用語と爲し第二 umo, üno の后置字ハ皆澤山の意ありて其の意根語と重複そる故に后置字のみと用ひ lu ハ非その意ゐる故に luüno と以て代用語とゐその法と設けさり

稽古問題

binob	私有る	gud	宜。良
binobs	私等有る	golüd	金
vemo	甚ざ。大層	so....ka	如く
binol	汝有る	silef	銀
binols	汝等有る	lin	指環
binom	彼有る	glok	時計
binoms	彼等有る	zif	町
lieg	富	süt	本通
pöf	貧	man	人
glet	大	valik	皆の
smal	小	e	與。而して

1. Binob gletikum ka flen nilela.

2. Canels pöfik no laboms domis gletik.
3. Binom man vemo pöfik e vemo smalik.
4. Givob gloki silefik al Tsune san.
5. Osaka no binom zif so gletik ka Tokio.
6. Dom canela binom luumo smalik ka dom de Inouye.
7. Flens valik de Tokusan laboms linis golüdik.
8. Binols in süt gletikum zifa.
9. No binoms vemo liegik ; laboms canis gudik nemödik.
10. Liegiks binoms flens gudikün pöfikas.
11. Labob stofis mödik ; selob canis mödikum ka nilel.
12. No labol moni so mödik ka man pöfikün zifa.

譯文

一 私ハ隣りの友人よりもより大きく有る

二 貧しき商人等ハ大いある家と持さぬ

三 彼ハ甚ぞ貧しく甚ぞ小さき人で有る

四 私しハ常さんに銀の時計と遣る

五 大坂ハ東京の如く左樣に大いある町で有らぬ

六 商人の家ハ井上の家よりより少しく小さく有る

七 德さんの皆の友人等ハ金の指環と持つ

八 汝等ハ町の最も大いある本通りに有る

九 彼等ハ甚ぞ富んで有らぬ宜しき商物と少く持つ

十 富者等ハ貧者等の最も宜しき友人で有る

(註に曰く富者貧者の原語ハ形容詞なれど是の所ろにてハ名詞として用ふるの例あり)

十一 私ハ澤山ある反物と持つ隣人よりもより澤山商物と賣る

十二 汝ハ町の最貧き人の如く左樣に澤山ある金と持さぬ

第四章

數詞

定數

Bal.	一	bals.	十	balsebal.	十一
tel.	二	tels.	廿	balsetel.	十二
kil.	三	kils.	卅	kilsebal.	卅一
fol.	四	fols.	四十	folse kil.	四十三
lul.	五	luls.	五十	lulsevel.	五十七
mäl.	六	mäls.	六十	mälsejöl.	六十八
vel.	七	vels.	七十	tumvels.	百七十
jöl.	八	jols.	八十	mältumzüls.	六百九十
zül.	九	züls.	九十	tumjöls.	百八十
tum.	百	mil.	千	kilmil.	三千

序數		乘數	
Balid.	第一	balik.	一倍
Telid.	第二	telik.	二倍

kilid.	第三	kilik.	三倍
Balsid.	第十	balsik.	十倍
Tumid.	第百	milik.	千倍

序數乘數共其の語尾に o の后置字と附加それぞれ副詞と爲る

例

序數副詞		乘數副詞	
balido.	第壹に	baliko.	一倍に
telido.	第貳に	teliko.	二倍に

壹度貳度等にハ定數語に na の后置字と附加そるものとそ

一回二回等にハ序數語に no の后置字と附加そるものとそ

balna.	壹度	telna.	貳度
balidno.	一回	telidno.	二回

分數

定數の語尾に dil (分の意) の后置字と附加して分數と爲そ

teldil bal.	二分の壹
foldils kil.	四分の三
tel e luldils fol.	二と五分の四

月

定數の語尾に ul (月と mul と言ふ故に其の m と省き只 ul と以て后置字と爲そ)の后置字と附加して月の順序と形はそものとそ

日

序數語と以て日の順序と形はそものとそ

例

balul.	一月	balsezülid.	十九日
telul.	二月	telsejölid.	二十八日

時

序數語と分數語と以て時の順序と形はそと法とそ

例

一	二	三
düp	kimid	binos
時ハ	何程にて	有る

五	一	二	三	四
binos	düp	telid	e	lafik
有る	時ハ	第二	と	半分

(日本語法にて二時三十分)

一	二	三	四	五
düp	mäʼid	e	foldils	kil
時ハ	第六	と	四分の	三

(日本語法にて六時四十五分)

稽古問題

kostom	直段有る	yel	年
satin	絹糸	mul	月
jueg	砂糖	vig	一周間
kaf	珈琲	del	日
met	メイトル	düp	時
miglam	キイラウ	minut	分
liät	リイテル	lepäk	包
fran	フラン	tub	桶
zim	サンチイム	limödik	何程（形容詞）
vin	葡萄酒	limödo	何程（副詞）

1. Yel labom delis kiltum mälselul; mul labom vigis fol.
2. Givob franis teltum lulsmil plo dom gletik nilela.
3. Miglam de kaf kostom luumo ka frans lul.
4. Selob liäti de vin plo zims velselul.
5. Binobs canels kil liegikün zifa.
6. Met de satin kostom frans kil, zims lul.
7. Doms lul balid süta binoms gletik; mälid e velid binoms smalik.
8. Selob in vig bal miglamis telmil de kaf.
9. Lepäkis limödik de kaf labols.
10. Vin kostom mödikumo in Yokohama ka in Paris.
11. Limödo tub de vin kostom in Kobe.
12. Lemob foldili bal miglama de jueg e foldilis kil miglama de kaf.

番外一　所、年、月、日、時の成句法

atos pepenom in Yokohama.

(in yel) balmil jöltum jölsejöl.

balul (yanul) balselulid.

düp zül (id) vendela.

番外二　書翰表書法

Yokohama balul 15id. 1888.

譯文

一　年ハ三百六十五日ヲ持ツ（持ハにて有るの意）月ハ四周間ヲ持ツ（にて有るの意）

二　私ハ二百五十千フランヲ（日本語法にて貳十五萬フランヲ）ヲ隣りの大なる家の爲に遣る（家ヲ買ふの意）

三　珈琲壹キィラウの直段ハ五フランヨリより少なく有る（安いの意）

四　私ハ葡萄酒壹リィテルヲ七十五サンチイムの爲に賣る

五　私等ハ町の最も富みたる三商人で有る

六　絹糸壹メイトルの直段ハ三フラン五サンチイムで有る

七　第五本通迄の家々ハ大く第六と第七ハ小く有る

八　私ハ一周間に珈琲貳千キィラウと賣る

九　汝ハ珈琲の包何程持つ

十　葡萄酒の直段ハ巴里に於てより横濱に於てより澤山で有る(高直で有るの意)

十一　神戸に葡萄酒一桶の直段何程で有る

十二　私ハ砂糖四分壹キィラウと珈琲四分三キィラウと買ふ

番外一　是者横濱に於て書れたる(年に於て)一千八百八十八第一月(一月)十五日夜の九時

註　(年に於てハ)の句ハ之と用ひるも可あり
用ひざるも可あり
第一月ハ(一月)と用ひるも可あり
züliｄ ｎ ｉｄ と省き用ひるも可あり

番外二　横濱第一月十五日千八百八十八

第五章

代名詞

表人代名詞

單數			複數	
一人稱	ob	我	obs	我等
二人稱	ol	汝	ols	汝等
三人稱	om	彼	om	彼等
	of	彼女	ofs	彼女等
	on	誰		

表人代名詞ハ名詞の如く四格の區別と立て用ひるものとす

例

	單數		複數	
主格	ob	我ハ	obs	我等ハ
持主格	oba	我の	obas	我等の
被與格	obe	我に。で	obes	我等に。で
目的格	obi	我と	obis	我等と

第二章名詞中に言ふ如く人名地名の持主格ハ后置字と用ひをして de の前置詞と置き被與格ハ al の前置詞と置くに限ると雖も他に於てハ a の后置字と de の前置詞日 e の后置字と al の前置詞ハ孰れと用るも可あり

例

oba　我の　　de　の　　ob　我

obe　我に　　al　に　　ob　我

表人代名詞も名詞の如く其の語尾に ik の后置字と結び付けて形容詞と爲す

例

obik　我の　　olik　汝の

Mot　e　cils　ofik
母　と　子　彼女の

（註　母と自分の子）

Löfon　läni　omik
好く、誰も　國と　誰の

（註　誰も自分の國と好く）

持主格と言ふとき形容詞の ik と代用するも可あり

例

持主格		形容詞	
Fat	oba	Fat	obik
父	我の	父	我の

稽古問題

sevob	私知る	fat	父
tikob	私考ふ	mot	母

pükob	私咄す	cil	子
liladob	私語む	son	悴
penob	私書く	blod	兄弟
studob	私習ふ	buk	書物
jön	美し	ofen	度々
delid	高し	ko	與○共に
gad	園	u	又ハ○或ハ
cem	部屋	ni	にもあい

1. Labob penedis plo ol e plo fat olik.
2. Om e blod omik binoms flens obik tel gudikün.
3. Penob ofblode de Luise e no mote ofik.
4. Cils obik binoms gletikum ka omiks.
5. Pükob ofen ko of in gad obsik.
6. Cans olsik no binoms so delidik ka omsiks.
7. Matsui no binom flen olsik; sevob omi.
8. Of-nilel e son ofik binoms in gad omsik.
9. Penob ni al ol, ni al of, ni al Sato.
10. Liladob mödiko: studob ofen in buk olik jönik.
11. Binobs ofenumo in gad obsik ka in cem obsik.
12. Binom vemo pöfik; givob ofen moni ome e ciles omik.

譯文

一　私ハ汝の爲と汝の父の爲に手紙ヲ持つ

二　彼と彼の兄弟ハ最も良き二の私の友人等で有る
（註 私の最も良き二友人で有る）

三　私ハ。リイセ。の女兄弟に書く而して彼女の母に書ゥぬ

四　私の子等ハ彼等（註彼等の子）よりより大く有る

五　私ハ彼女と私等の園に於て度々唱ヲ

六　汝等の商物ハ彼等（註彼等の商物）の如く高く有らぬ

七　松井ハ汝等の友人で有らぬ私ハ彼ヲ知る

八　隣女と彼女の悴ハ彼等の園の内に居る

九　私ハ汝にも彼の女にも佐藤にも書ゥぬ（註 手紙ヲ書ゥぬ）

十　私ハ澤山讀む私しハ美しき汝等の書物に於て度々習ふ

十一　私等ハ私等の部屋により私等の園により度々居る
（註 部屋よりも園の方に多く居る）

十二　彼ハ甚ダ貧しく有る私ハ彼にと彼の子等に金子ヲ度々遣る

指示代名詞

at	是の	et	彼の
atos	是の事	etos	彼の事

例

二	一	三	五	四
söl	at	e	läds	et
紳士	是の	と	貴女等	彼の

at et ハ共に s ヲ附加して ats ets と綴り之ヲ名詞の代名として用ゐるヲ得

例

一	三	二	四	六	五
ats	binoms	liegik	ets	binoms	pöfik
是等ハ	有る	富みて	彼等ハ	有る	貧しく

atos etos ハ共に格の區別ヲ立て用ゐるものとヲ

疑問代名詞

疑問代名詞にも四格あり后置字附加の法ハ名詞と同法あり

Kim	誰 孰	是ハ男性と事物に就て言ふ
Kif	誰	是ハ女性のみに就て言ふ
Kis	何	是ハ事物にのみ就て言ふ

例

四	五 一	三	二
Kime	givol	buki	olik
誰に	遣る汝ハ	書物ヲ	汝の

三	四 一	二
Kisi	openobs	ome
何ヲ	書きませう汝ハ	彼に

Kim Kif にoの一字を挿綴して形容詞と爲を而して格の區別を立て用ゐるものとを

Kiom	誰の 孰の
Kiof	誰の

例

二	一	四 三
Püki	kiom	studols
言葉を	孰の	習ふ汝等ハ

三	二	一	五 四
Kiomi	pükas	at	studols
孰を	言葉の	是の	習ふ 汝ハ

二	三	一	五	四
Kiof	of-blodas	olik	binof	is?
誰の	女兄弟等ダ	汝の	有る	是所に

Ki より次に記を如き副詞を組立るを得

Kimik	何の類	Kimidnik	何程の類
Kimiko	何狀	Kiöp	何所
Kimid	何番	Kiüp	何頃
Kimna	何度	Kikod	何故

稽古問題

pükob	私唱を	söl	紳士

pükobs	私等唱を	läd	貴女
vilol	汝望む 欲を	vomül	乙女
		bod	麵包
vilols	汝等望む 欲を	mit	肉
		vat	水
sagom	彼言ふ	vin	葡萄酒
sagoms	彼等言ふ	flif	冷
fidön	食を	led	赤
dlinön	飲む	ta	向て
penön	書く	pledön	遊ぶ

1. Ko kiom flenas obik vilols pledön?
2. Labom buki jönik; plo kim binom?
3. Kisi vilols dlinön, Läds e söls?
4. Vilols dlinön de vin at ledik ko vat flifik.
5. Kiofe läds at kil vilols penöm.
6. Buks at binoms gudikum ka ets.
7. No pükobs plo läds at, pükobs ta ofs.
8. De mit e bod kiom vilols fidön?
9. Kimid del mula Shimada binom in Saikio.
10. Penob flenes de Fujita e no utes de Yasuda.
11. Sevob sölis at fol: tel at binoms liegik, tel et binoms pöfik.
12. Kiöp buks olik e uts löda Ayako binoms?

譯文

一　私の誰の友人と汝ハ遊ぶと欲そ

二　彼ハ美しき書物と持つ誰の爲で有る

三　貴女等と紳士等何と飲むと欲そ

四　汝等ハ冷き水と此の赤き葡萄酒とと飲むと欲そ

五　此の三貴女の誰に汝等ハ書くと欲そ

六　此の書物ハ彼れよりより善く有る

七　私等ハ此の貴女の爲に唱さぬ彼女に向て唱そ
（註　貴女の名譽とおるべきことと唱さそ匹敵して其の害とおることと唱そ）

八　肉と麵包と汝等ハ孰と食そと欲そ

九　月の向日島田ハ西京に居る

十　私ハ藤田の友人に書く安田の友人に書かぬ

十一　私ハ此の四旦那と知る此の二ハ富み彼の二ハ貧く有る

十二　汝の書物と綾子貴女の書物ハ何所に有る

關係代名詞

關係代名詞ハ人に就てハ Kel（所）事物に就てハ Kelos（所の者）と以て關係代名詞と爲し四格の區別と立て用ゐるものとそ

Kel ハ男性女性に兼用語おれども両性の別と判然せんと欲そる場合にハ of の后置字と附加し Kelof と連綴して女性と爲そべし

先詞おる名詞の單數複數に因て關係代名詞も亦單複の區別と立て用ゐるものとそ

例

人に就ての單數	flen（四）友人	keli（三）所の	löfobs（二）好む私等ガ
人に就ての複數	Tiids（四）貴女等	kelis（三）所の	sevols（二）知る汝等ガ
事物に就て知る私ハ	noloh（五）所の者と	kelosi（四）	penols（三）書く汝等ガ
mot（六）毋	söla（五）紳士の	nt（四）是の	kelofi（三）所の
elogol（二）見さ汝ガ			

不定代名詞

不定代名詞も亦格の區別と立て用ゐべし

Alim	誰も	Som	何某
Ek	或人	Bos	何事
Nek	誰も無い	Nos	何事も無い
Ans	多少		

例

五	一	四	三	二
epenob		alime	bosi	nulik
書	私は	誰にも	何事と	新しき

次に記すものと以て形容詞状の不定代名詞と爲す

alik	誰もの	bofik	に人の
	何事もの	somik	何某の
	毎毎の	teldik	種々の
anik	多少の	valik	皆の
nonik	一も無い	mödik	澤山
ot	如く		(事物に就て)
votik	別の	nemödik	少しの
balvotik	各の	mödumik	澤山の
sembal	一人の或		(人に就て)
	一個の		

稽古問題

kanob	私出來る	pösod	人者
	能ふ	pük	言葉
logol	汝見る	koten	滿足
getom	彼貰ふ	nekoten	不滿足

klödobs	私等信ぜ	nevelo	何時もない
mütols	汝等爲ねばならぬ	ibo	故に
		if	若し
löfoms	彼等如む愛ぜ	ab	然に
blibön	居る留く	is	是所
kömön	來る	us	彼所
sedön	送る	kapälön	知了

1. Logol is pösodi kel binom nevelo kotenik.
2. Sevob caneli kela cils binoms is.
3. No labol bukis; givob ole anis.
4. Alim de obs labom flenis so mödik ka ols.
5. Sevob pösodis mödumik kels laboms moni mödik, ab flenis nemödik.
6. Löfoms eki kel binom flen neka.
7. No kanob kapälön kelosi sagol.
8. Sevob noniki de buks kelis mutols sedön.
9. Kikod no vilols kömön ko flens anik?
10. Moni limödik Tomizawa getom del alik.
11. Klödobs nosi de atos; ibo no binol flen obsik.
12. Binobs valiks nekotenik if no vilols blibön ko obs.

譯文

一 汝は何時も滿足に有らぬ所の人と此所に見る

（註 不愉快の人と見る）

二　私ハ子ガ此所に有る所の商人と知る

（註 子の父ある商人と知る）

三　汝ハ書物と持さぬ私ハ多少〔書物〕と汝に遣る

四　私等の誰もガ汝等の如く左樣に澤山ある友人と持つ

五　私ハ澤山ある金と持ち然るに澤山ある友人と持さぬ所の澤山の人と知る

六　彼等ハ誰もの友人で有らぬ所の或人と好む

七　私ハ汝等ガ言ふ所の者と知了能ハぬ

八　私ハ汝等ガ送らむべあらぬ所の書物の一とも知らぬ

九　何故汝ハ多少の友人〔二三の友人〕と來ると欲せぬ

十　何程の金子と富澤ハ毎日貰ふ

十一　汝等ハ私等の友人で有らぬ故に私等ハ是等の何事も信せぬ

十二　若し汝等ハ私等と共に居ると欲せぬあらば私等ハ皆不滿足で有る

第六章

働詞

働詞ハ大抵名詞と以て根語と爲し其の語尾に ön の后置字と附加して働詞と爲そ

例

名詞		働詞	
pük	言葉	pükön	咄そ
pen	筆	pen.ön	書く

根語の尾りに表人代名詞と綴合して人稱働詞とあそ（人稱働詞の名稱穩當あらざるガ如しと雖も以下屢々是の名稱と用ひざると得ざることあり故に假りに是の名稱と附し置く）但し複數にハ s の后置字と結び付くるものとそ

例

	單數		複數	
一人稱	penob	私書く	penobs	私等書く
二人稱	penol	汝書く	penols	汝等書く
三人稱	penom	彼書く	penoms	彼等書く
	penof	彼女書く	penofs	彼女等書く
	penon	或人書く		

時法

現在

現在語の尾りに ä e i の前置字と附加して過去語と爲

lou の前置字と附加して未來語と爲そと法とそ

現在

penob　私書く

過去

不充分	äpenob	私書きぬ
充分	epenob	私書きけり
充分引續	ipenob	私書くあつさりき

未來

第壹未來	openob	私書きぬらん
第貳未來	upenob	私書てありぬらん

現在とハ今方に有る事と言ひあらはそ即ち(爲る)書き居る)等の如し

不充分過去とハ前きに爲せし事或ハ有りし事の未ゞ全く過ぎ去らざるものと言ふ即ち(私ガ臥しさ時友人ガ來さ)等の如し是の臥しさハ過去ありと雖も未ゞ全く充分に過ぎ去らざるに友人の來るあり故に是等と以て不充分過去と爲そ

充分過去とハ何ゝ有りし事或ハ爲せし事の既に全く過ぎ去りけるものと言ふ即ち(私ハ家と建てけり)等の如し

充分引續過去とハ常て爲しさる事或ハ有し事と其の事の他に有りさる事或ハ爲しさる事と比ぶるものと言ふ即ち(彼ガ卒業しさ頃に私ハ卒業して居さ)(彼ガ來て居さあらバ私ハ咄しさ)等の如し

第一未來ハ大方是ハ斯くあらんと將來と推量そるものと言ふ即ち(學ぶらん)等の如し

第二未來ハ將來に起る可き事と其の事の外に起る可き事と比ぶるものと言ふ即ち(彼ガ來ませう頃に私ハ出て居ませう)(私ガ出て居ませう頃に彼ガ來ませう)等の如し

時法動詞の前置字と同一の前置字と日月年夜等の語頭に附加それバ次例の如し

例

del	日	yel	年
adelo	今日	ayelo	今年
ädelo	昨日	äyelo	昨年
edelo	一昨日	eyelo	一昨年

odelo	明日	oyelo	明年
udelo	明後日	uvelo	明後年
mul	月	amulo	今月
omulo	來月	umulo	再來月
ämulo	去月	emulo	一昨月

今夜明夜等も上例に法るべし

Liハ日本語の歟に相當そる故に疑問句のときハ之を句頭に置くものとす

例

四	三	二
Li	studols	volapüki?
歟	習ふ 汝等ハ	世界語を

稽古問題

golön	行く	tel	貿易
mogolön	去る	tedel	貿易商人
säkön	尋る	velat	誠
pelön	拂ふ	maläd	病
lugivön	貸す	ya	最早
nolön	知る	sis	從○爾來
tuvön	拾ふ	ven	後○時

yutön	助力そる	kiüp	何頃
spelön	望む	na	後
pölüdön	失ふ	das	と○事を

1. Sedob olse tubis kil de vin kelis elemols.
2. äklödol das no äkapälob kelosi äsagof.
3. Li-sevols pösodis keles mütobs penön.
4. Omogolom, ven ugetom penedi obik.
5. Ven ugetols buki obik, omütols penön osi obe.
6. Isagon obe das äbinom malädik sis muls fol.
7. Kiüp tedel at olugivom moni obes?
8. Fat olsik li-klödom das ogolob ko om udelo?
9. If no yufols omi, no otuvom buki keli epölüdom.
10. Hisamatsu li spelom das osagofs velati obes?
11. Emogolom, na ipölüdom moni omik.
12. No okanob pelön canis kelis eselols obe.

譯文

一 私ハ汝等ガ買ふと所の葡萄酒三樽を汝等に遣る

二 汝ハ私ガ彼女の言ふと所の者を知了せをんぞと信じと

三 汝等ハ私等ガ書かねばをらぬ所の人を知るう

四 彼ハ私の手紙を貰ふであらう後に去りませう

五 汝等ハ私の書物を貰ふであらう後に汝等ハ私に其を書かねばをらぬであらう

六　彼ハ四月(四月前)から病氣であつさと或人ガ私に言ふさり

七　何頃是の貿易商人ハ私等に金子ヲ貸しませう

八　汝等の父ハ私ガ明後日彼と(父と)共に行きませうと信ぜるり

九　若し汝等ガ彼ヲ助力せぬあらバ彼ハ失ふさ所の書物ヲ拾ハぬであらう

十　久松ハ彼女等ガ私等に誠ヲ言ひませう事ヲ望むり

十一　彼ハ彼の金子ヲ失ふさ後去れり

十二　私ハ汝等ガ私に賣りし所の反物ヲ(反物代價)拂ひ能ハぬであらう

命令法

人稱働詞の語尾に öd の后置字ヲ附加して命令法ヲ爲ぞ

現在

penol-öd　汝書け

penobs-öd　私等書ゥねバあらぬ

自分に對し命令ヲ下ぞ筈あし故に自己ヲ指し言ふときハ(ねバあらぬ)の意とあぞ

過去

不充分　äpenom-öd　彼書く可きでありぬ

充分　epenom-öd　彼書く可きでありけり

充分引續　ipenom-öd　彼書く可きでありさりき

未來

第一未來　openom-öd　彼書く可きあらん

第二未來　upenom öd　彼書く可でありぬらん

願望の意ヲ言ひあらハぞときハ öd の代りに ös の后置字ヲ用ゐるものとぞ

例

sagol-ös　請ふ言へ

obe　私に

假定法

人稱働詞の語尾に la (日本語にて、あらバの意)の后置字ヲ附加して假定法ヲ爲ぞ

不確の意ヲ言ハんと欲ぞるときハ人稱働詞に öv (日本語にて、あらうの意)の后置字ヲ附加して假定語の前又ハ後に置くべし

例

if　若し

älabok-la　持さあらバ私ガ

moni　金子ヲ

七 五 älemob-öv 買ふさであらう私ハ

六 bukis 書物と

七 五 isagob-öv 言ふであらう私ハ

六 osi 其れと

一 if 若し

四 二 ibinom-la 來てあつさあらば

三 is 彼ガ是所に

不定法

名詞の語尾に ön の后置字と附加して不定法と爲そ

五 一 komob 來る私ハ

四 al に

三 sagön 言ひ

二 olse 汝等に

五 一 begob 願ふ私ハ

四 oli 汝と

三 sagön 咄そと

二 ome 彼に

分詞

名詞と以て根語と爲し öl の后置字と附加して分詞とあそと法とそ

例

二 omotävöl 行きませう所で

一 odelo 明日

七 三 begob 願ふ私ハ

六 olsi 汝等と

五 blibön 居ると

四 is 是所に

一 gonöl 行て

二 logön 見る

現在

penöl 書いて　書く所で

過去

epenöl 書いさ所で

未來

openöl 書きぬらん所で

稽古問題

Flent	佛蘭西	kanitän	謠ふ
Flentel	佛人	avigo	是の周間
Flentik	佛の	ävigo	前の周間
	(形容詞)	ovigo	後の周間
Flentiko	佛に	amulo	今月
	(副詞)	ayelo	今年
Nelij	英吉利西	aneito	今夜
Deut	獨逸	evelo	何時も
Lusän	魯西亞	nevelo	何時もあい

Späu	西班牙	al	に
Täl	伊太利	nen	無く。不
pük	言葉	do	雖も
		lilän	聞

1. äpükob-öv püki Lusänik, if ibinob-la muls anik in Lusän.
2. Nevelo iklölobs öv atosi, if obs it no ilogobs-la osi.
3. ägolob-öv ayelo al Berlin, if äsevob-la gudikumo püki Deutik.
4. No li-vilols säkön ome liko sagon atosi Nelijiko.
5. Penols-öd ome kikod no ekanob golön al Tokio ävigo.
6. Penol-ös ome kioms binoms Späuels kelis elogols edelo.
7. Egivom nevelo bosi obes, do binom vemo liegik.
8. Vilob das sagom neke kelosi elogom adelo.
9. Emogolom nen epelön canis kelis ilemom.
10. Kanob kanitön, ab no kömob adelo al kanitön.
11. Ovigobs bukis Tälele, kel okömom ko om omulo.
12. Nelijel elilöl atosi, emogolom nen sagön bosi.

譯文

一 若し私ハ多少の月魯西亞に居つさあらば私ハ魯語と咄しさであらう

二 若し私等自分其と見ざりきあらば私ハ是と少しも信せざりしであらう

三 若し私ダより善く獨逸語と知つさあらば私ハ伯林に今年行さであらう

四 汝等ハ英語と如何樣に咄そと彼に尋ぬると欲せぬう

五 汝等ハ何故に私ダ昨週間東京に行くこと能ハざりしと彼に書け

六 請ふ汝ハ汝等ダ一昨日見さりし所の西班牙人等ハ誰であると彼に書け

七 彼ハ大層富みてあると雖も彼ハ私等にいつもあにもと遣らざりし

八 私ハ彼ダ今日見さりし所の者と誰もに言ハぬ事と望む

九 彼ハ彼ダ買ひし所の反物と拂ハを去れり

十 私ハ謠ひ能ふ併し私ハ今日謠ひに來さらぬ

十一 私等ハ彼と來月來るであらう所の伊太利亞人に書物と遣りませう

十二 英吉利西人ハ是と聞きし所で何事と言ハを去れり

受身法

働詞時法の語頭にpの前置字と附加して受身法と爲そ而るに現在語のみpaの前置字と附加そるものとそ

例

直說法